明徳女子準V 男子3位

卓球 全国中学選抜

準優勝を果たした明徳女子チーム（宮城県セキスイハイムスーパーアリーナ）

卓球の全国中学選抜大会は25、26日、宮城県セキスイハイムスーパーアリーナで行われ、明徳義塾の女子が準優勝を果たした。明徳は男子も3位に入った。

明徳の女子は郡山二（福島）との準々決勝、山陽学園（岡山）との準決勝をいずれも3－2で競り勝った。決勝は貝塚二（大阪）に敗れたが、2－3と粘った。男子は中間東（福岡）との準々決勝を0－2からの逆転で制したものの、準決勝で愛工大名電（愛知）に0－3で屈した。

＝決勝と県関係記録

▽男子予選リーグE組 明徳4－1八代一（熊本）▼明徳5－0氷見北部（富山）【順位】①明徳2勝＝決勝トーナメント進出

▽決勝トーナメント1回戦 明徳3－0鷹匠（兵庫）

▽準々決勝 明徳3－2中間東（福岡）

▽準決勝 愛工大名電（愛知）3－0明徳 佐々木持田3－0長谷川 月原司3－2伊藤 古谷永3－0福

▽決勝 野田学園（山口）3－2愛工大名

▽女子予選リーグI組 明徳5－0与那原（沖縄）▼明徳5－0桜ケ丘（鳥取）【順位】①明徳2勝＝決勝トーナメント進出

▽決勝トーナメント1回戦 明徳3－0三郷（奈良）

▽準々決勝 明徳3－2郡山二（福島）

▽準決勝 明徳3－2山陽学園（岡山） 立川2－3樋口 吉田3－1山村 小橋石井3－0阿部 駒瀬青井0－3斎木 高取3－1景山

▽決勝 貝塚二（大阪）3－2明徳 竹谷佐藤3－0駒瀬 三島深山2－3立川 小橋井石3－1前田 吉田0－3深山 倉嶋青井3－0

チーム一丸 力出し切る

全国高校選抜大会と日程が重なり、明徳は監督の佐藤建剛、利香夫妻が不在。代わりに女子のベンチに入った80歳の元監督、穂積宗一郎アドバイザーは「チーム一丸で力を出し切れた」と声を弾ませた。

女子は山陽学園との準決勝で、第1単のエース立川が敗れた。しかし、第2単吉田と複の小橋・石井が踏ん張り流れを引き戻すと、最後は併設高の主将を務め今春卒業した青井さくらの妹、里穏がしぶとく勝った。

決勝の相手、貝塚二は公立校だが、Tリーグプレーオフでこの日準優勝した日本生命の下部組織の選手が本拠地の地元中学に通う形のチーム。2－3で惜しくも敗れたものの、第2単の立川が昨秋の全日本選手権カデット女王の佐藤をフルゲームの末に破った。

男子は中間東との準々決勝で、0－2からの大逆転勝利。複の1年生ペア、中川・福永が攻めに攻めて1点を取り返すと、最後は2－2から主将のカットマン伊藤が粘り抜いた。2014年に併設高卒業のOB、岩本尚之コーチは「最後まで集中力が切れなかった」と、選手の頑張りをねぎらった。

今夏の全国中学校体育大会は高知市で開催。今回以上の粘りを地元で見せたい。（井上太郎）

2023年3月27日 高知新聞